

## 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター研修【第2回】

6月3日(金)10:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者 15名

### 1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

### 2 内容

【発表】「あおり家庭教育アドバイザーを活用した家庭教育支援の在り方」

県総合社会教育センター 教育活動支援課 指導主事 津嶋 由香

【講義】「家庭教育支援の充実」 横浜創英大学 教授 中村 由美子 (なかむら ゆみこ) 氏



中村 由美子氏

### 3 中村氏講義要旨

- 家庭教育の低下が叫ばれている中、地域ぐるみでの家庭教育支援・子育て支援が求められています。
- それぞれの地域には、それぞれの地域事情があります。その地域事情に根ざした家庭事情があるのですから、それを理解した上での家庭教育支援活動を展開することが大切です。
- みんなで子育てをするためにも、コミュニケーションが大切です。親は、子どもの様子を見て、その言葉に耳を傾け、子どものペースを感じながら、共に歩んでみようと思心を決めることから、子育ての第一歩は始まります。

### 4 アンケート結果から

受講結果に満足	100%	どちらかと言えば不満	0%
どちらかと言えば満足	0%	不満	0%

(受講者の感想)

- 午前の発表では、あおり家庭教育アドバイザーと家庭教育支援の現状を知ることができた。小中学校で周知し、活用できると、家庭教育力が向上すると強く感じた。また、午後の講義では、地域における家庭教育について詳しく知ることができた。「家族のライフサイクル」という言葉が印象的で、「個人と社会との関係」で発達的に捉える必要があることが分かった。なおさら地域の力が必要であると強く感じた。
- 「あおり家庭教育アドバイザー」に係る事業についての理解を深めることができた。アンケート結果及び考察から、これからの取組について、自分だったら、という視点で考えることができた。来週から始まる地区の事業で、もっと考えを深め、活用普及を進めていきたいと思った。また、「家庭教育の充実」では、現代の子どもたちの危機と家庭教育の関連について考えさせられた。地域と共に、子育ての必要性を感じましたが、今の実態を考えるとなかなかハードルが高いことなのかなと思った。
- 子育て、親育ての共通点を知ることができ、支援の仕方についても学ぶことができ良かった。地域と子ども、保護者をどうつなげていくか、今一度考えたいと思う。

今回は、県の社会教育行政の重点より、「家庭教育支援の充実」をテーマとした研修を行いました。市町村の職員始め、県行政の担当者、さらにはあおり家庭教育アドバイザーを含めた家庭教育支援者の皆様にご参加いただき、今後の支援充実について考え、方向性を見いだすことができた研修となりました。